



成長の足跡と、次なる一步へ 1学期を振り返って

4月に新しい仲間や先生方を迎え、元気いっぱいスタートした1学期も無事に終業式を迎えました。生徒の皆さん、この1学期を振り返り、皆さんが着実に成長できたことを心から嬉しく思います。教科の学習や学級活動、生徒会活動などを通して、皆さんの可能性が大きく広がった1学期となりました。

今学期行われた、生徒たちの主体的な活動や貴重な学びの機会をいくつかご紹介します。

【人権教育講演会（5月7日）】

満蒙開拓平和祈念館の三沢亜紀事務局長をお招きしました。全国・市町村別で最も多くの満州移民を送り出した長野県・富士見町だからこそ、満蒙開拓の歴史から深く学び合いました。「目に見えない戦争の傷跡が心に残っている」という言葉が印象的でした。



【あいさつ運動強化週間（5月18日～22日）】

生徒会本部の企画で、全校に参加を募って実施しました。日に日に輪が広がり、朝の昇降口前は明るく爽やかな声が響き渡る素敵な1日のスタートとなりました。

【歯と口の健康学習会（6月30日）】

スマイル MFT 代表の熊谷周子先生をお招きし、ガムを使いながら噛むことの大切さや食事の姿勢（足の裏を床につけること）について学びました。保護者や地域の方々にも一緒にご参加いただきました。

【しらかば・すずらんコンテスト（7月8日）】

1年生が校歌を覚えることや、先輩が伝統の歌声を伝えること、クラスの絆を深めることを目的に開催されました。今年度は校歌1番を歌い、各学級が練習の成果を発揮して最高の発表となりました。



この夏休みが、2学期に向けて新たな目標を見つけるきっかけとなることを期待しています。今年は特に厳しい暑さが予想されますので、健康管理には十分注意してください。2学期の始業式に、再び瞳を輝かせた皆さんと元気に再会できることを楽しみにしています。

1学期終業式 ～73日の登校日数を経て～

★生徒代表作文発表★

『初めての中学校生活』 1年1部 Y.Sさん

中学生になって約3ヶ月が経ち、もう1学期が終わろうとしています。

今でこそ中学校生活が当たり前になりましたが、入学前は、新しい生活に不安しかありませんでした。小学校の時は、ずっと同じメンバーに囲まれて過ごしていたからです。それが中学校に入り、周りに初めて出会うような知らない人ばかりの環境に変わると聞いて、「新しい環境の中で、大丈夫かな」とかなり心配でした。そんな私の不安をなくしてくれたのが、入学初日の出来事です。

はじめて教室に入ったとき、緊張していて違う席についてしまったのですが、その時隣の席の子が助けてくれました。間違えたことで焦っていたので、とても嬉しかったです。

この出来事をきっかけに、「一度話しかけてしまえば、案外楽しく話せるんだな」と気づくことができました。周りのみんなもとても親切で、自分から話しかけてみることの大切さがわかった、とてもいい一歩になりました。

それから、私が中学校で不安だったことが、もう1つあります。それは勉強です。中学校の勉強は一気に難しくなり、放課後にしっかり復習をしないとなかなか理解できなくなりました。小学校の頃はそこそこできていた分、最初は焦りましたが、先生や友達、そして先輩たちがわからない部分をたくさん教えてくれたおかげで、なんとか追いつくことができました。小学校にはなかった初めての期末テストにはとても緊張しましたが、復習を頑張ったことで、思った以上の結果を出すことができました。

2学期は、1学期にできるようになったことを自信にしながら、様々なことに積極的に取り組める「チャレンジ精神」をもちたいです。そのために、これから自分の得意なことをたくさん見つけていきたいと思っています。

『次に向けての努力』 2年1部 G.Rさん

僕はこの1学期で印象に残ったことと、改善していきたいことが3つあります。

1つ目はクラス替えです。進級すると同時にクラス替えがあり、最初はこのクラスのみ々と仲良くできるか心配でした。けれど、実際このクラスで過ごしてみると、いろいろな人と話したり、関わったりすることですぐにクラスに馴染むことができました。今ではクラスのいろいろな友だちと仲良くできています。これからは友だちに信頼されるようになりたいです。

2つ目は部活動です。新しく後輩ができて、先輩と呼ばれる立場になったり、バレーボール部の副部長になったりして、不安がありました。いろいろなことに悩み、一人では解決できないこともありました。けれど、仲間の支えや後輩たちとの関わりの中で悩みが解消されていきました。これからは、僕がチームメイトに信頼されるように全力をつくしてチームを支えていきたいです。

3つ目は勉強です。今回の定期テストでは今までのテストよりも内容が難しく思うような点数が取れませんでした。テストが終わって振り返ってみると、テスト前の勉強の時間はとれていたように思います。だから、これからは勉強の質を高めていきたいです。例えば、机の周りに気が散るものがあったり、勉強時間の使い方を教科ごと工夫していったりしたいです。次回のテストではこれらを改善し、夏休みは今回のテストの復習をして、できなかった部分を克服していきたいです。

最後に、僕はこれら3つの経験を2学期にしっかりと繋げてよい2学期にしていきたいです。2学期にはいろいろな行事があります。クラスでの絆をさらに深め、部活や勉強で自分の納得する結果が出るように、この夏休みから「次に繋がる努力」をしていきたいです。

『1学期を振り返って』 3年3部 D.Kさん

3年生になってから、3ヶ月が経過しました。その3ヶ月間で、いろいろなことがありました。その中でも、3つ紹介します。

1つ目は、修学旅行です。修学旅行では、広島、京都へ行きました。広島では、雨の中、原爆ドームを見に行きました。原爆投下後の原爆ドームは、痛々しい姿でした。その後、原爆資料館に行き、実際に落とされたときの建物や、写真などを見ました。その中でも、原爆投下時に子どもが着ていた服が印象に残りました。展示を見るとボロボロになっており、非常に心が痛みました。広島のような悲劇をもう1度起こさない様に、原爆の悲惨さを見て学ぶ、そして、聞いて学ぶ。このようにして、もう2度と、原爆がない社会にしていきたいです。そして、2日目には、京都へ行きました。京都では、昔ながらの、街並み、そして、昔の建物、現代の、昔ながらの景観を守るための、京都の街並みを見ました。そして、私がもう1度京都へいけるのなら、もう1度見たいところがあります。それは、清水寺から京都を一望できることです。清水寺から見る現代の京都は、東大文字や西大文字、などが、京都の景観が守られていることによって、すごく綺麗に感じました。だから、私は、京都から見る現代の街並みをもう1度見てみたいです。

2つ目は、3年総復習テストです。3年生になってテストが増えたことで、私は初めて本気でやらないとやばいと感じました。点数が思うように取れなかった悔しさは、今でも忘れられません。でも、その悔しさがあ

ったからこそ、変わりたいという気持ちが強くなりました。ゲームや動画に時間を使いすぎていた自分を見直すきっかけにもなりました。勉強を後回しにしていた日々を思い返すと、もっとできたはずだと感じます。だからこそ、これからは少しずつでも勉強時間を増やしていくことを決めました。最初の一步は小さくても、続けられれば必ず大きな変化になると信じています。総合テストでは、今までの自分を超越する結果を出せるように努力していきたいです。次のテストは、3年生の内容だけでなく1・2年生で学習した問題も出るののでしっかりと勉強し、ゲームのしすぎや、ユーチューブの見すぎにならないように、2学期からの総合テストにむけて、勉強時間を1時間だけでも確保し、そこからだんだん勉強時間を増やしていき、最終的には3時間まで増やしていきたいと思います。

3つ目は教育実習生の先生がいらしたことです。教育実習生の先生が私たちのクラスに来てくれた3週間は、いつもの生活と少し違った新鮮さがありました。先生は、大学生で、年齢も私たちに近かったのですが、私は先生とあんまり親しくなれませんでした。自分が、内向的な性格ということもあり、先生とあまり話さず、教育実習が終わってしまいました。でもその中でも特に印象に残っているのは、道徳のプリントの返却時のことです。道徳のプリントには、1人1人手書きでピクミンなどの絵を書いてくれていました。また、授業準備をととても丁寧にしており、やっぱり、先生になるのは大変なんだなと思いました。だから、担任の先生、教科担任の先生には、しっかり、感謝を伝えつつ、授業にしっかり望むのがせめてもの礼儀だと改めて、実感しました。

私は、3つのことを生かし、残りの8か月しっかりと勉強し、担任の先生、そして教科担任の先生に感謝しつつ、学校生活を過ごしていきたいと思います。

1 学期終業式 校長講話

この写真は、先週行われた「探究ウィーク」、3年生の様子です。みなさん全員の活動の様子を見ることはできませんでしたが、全校みんなが、ここに映る3年生同様に、わたしならではの、わたしたちならではの探究を楽しんだかと思います。

さて、この1学期はどうでしたか。私自身の成長はありましたか。仲間の成長に気づけましたか。学級の成長はありましたか。校長先生は、先日のしらかばすずらんコンテストで歌うみなさんの姿に、それぞれの学級の成長を感じることができました。そして、未来のわたしを想像することができましたか。こんな自分になりたい。ぜひ、なりたい自分を夏休みに思い描いてみてください。

いよいよ明日から夏休みです。どんな夏休みにしたいですか。どんなことを予定していますか。夏休みにチャレンジすることはなんですか。あるいは、これまで続けてきたことを夏休み中も続けようとしている人もいるかもしれません。ぜひ、続けてください。

ここで、数字を紹介します。「624」この数字は何でしょう。この数字になる計算はこれです「 24×26 」。単位をつけるとこうです「24時間 $\times$ 26日」。そうです。夏休みにみなさんに与えられた時間になります。

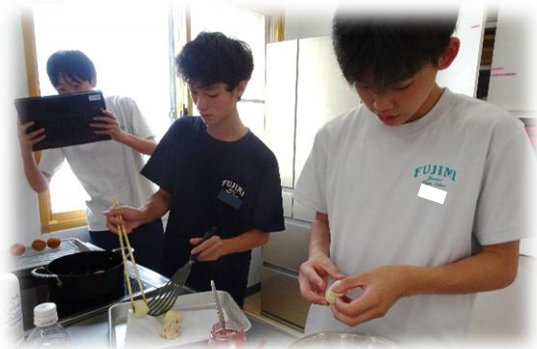
この624時間は、すべての人に与えられた平等な時間です。みなさんにも、先生たちにも与えられた時間です。時間は、使い方によって時間の価値は変わります。「それって、どういうこと」と思いますよね。具体的に話をします。

3年生に、バスケットボールに打ち込むKさんとMさんがいます。2人は2年生の途中から続けていることがあります。それは週に1回の自主練習です。練習場所は市民センターなのですが、借りるために170円を払っているそうです。つまり、2人は練習できる時間を、170円で購入したということになります。

170円で購入した時間は、どのような時間と言えるのでしょうか。それは、夢に向かうための時間であり、自分を高めるための時間であり、新たな自分になるための時間でもあります。170円は、“未来への自分”への投資とも言えます。

みなさんに与えられる明日からの624時間という時間。使い手によって時間の価値は変わります。無駄にはしないでください。ぜひ、一人一人、わたしの時間をマネジメントしてみてください。

ここで、ある人の言葉を紹介します。この言葉は2016年の1月、今からおよそ10年前に発せられた言葉です。



「夢は日本代表に入って活躍すること。みんなにでかすぎると言われるが、言葉にしなければ叶わない」

当時は坊主頭で、学生服姿の無名のサッカー選手でした。誰なのかわかる人いますか。サッカー日本代表の前田大然選手です。松本山雅FCの入団会見で、日本代表になることを誓ったそうです。その後、ここの経歴にある通り、海外のチームに移籍し、ワールドカップにも2大会連続出場し、得点も決めました。そのシーンを見た人もいます。

日本には“言霊（ことだま）”という言葉があります。古代、言葉が持っている信じられた神秘的な霊力のことを意味し、言葉を発することによって自らを奮い立たせるといった意味にもなります。前田選手は、かつての取材で「下手なので、練習して上手くなるしかない」と話されていました。練習から手を抜くことなく、体のケアも大切にしているそうです。前田選手は、入団会見で口にした「日本代表になる」を自分に言い聞かせ、誰よりも練習を重ね、与えられた時間を、自らの力で“夢を実現するための時間”にしたのです。

夏休みに与えられた624時間は自分を高めるための、新たな自分になるための、夢を実現させるための、大切な時間です。無駄にしないためにも、続けること、あるいは挑戦することを決めてください。そして、前田選手のように言葉にして、決めたことをやり遂げてください。自らの力で、言葉を“言霊”にしてください。

長い夏休み、くれぐれも健康に気をつけてください。そして、絶対に交通事故や水難事故に合わないでください。夏休み明け、“新たなわたし”となって体育館に集いましょう。2学期は、富士見中学校がサキドリ研究校として、具体的に動いていきます。文部科学省から指定をいただいている、学校としての大きな大きなチャレンジになります。日課の変更も予定しています。富士見中ならではの新しい教育をつくっていくには、みなさんの協力が必要になります。詳しくは2学期の始業式で伝えます。それでは、よい夏休みを。終わります。

【何か困ったことがあったら】

生徒のみなさんへ

長野県教育委員会では、次の相談窓口を開設しています。
気軽にご利用ください。

紹介動画はこちら



「ピア・デイ」開催中！
7～9月の毎週水曜日 18時～20時 大学生等があなたの悩みをお聞きます。先輩たちと気軽にお話ししてみませんか？
※ただし、8/12・9/23は、通常の相談員が17時～21時に対応します

令和8年度 ひとりで悩まないで@長野

あなたの想いを**LINE**でお話してみよう

友だちや人間関係のこと 学校生活のこと 自分の心や身体のこと

まずは友だち追加してね

家族 友だち 先生に言えないこと
安心して話せる場所があります

相談日 **水曜日と日曜日**
受付時間 **17時～21時**
*相談終了は21時30分

詳しくはこちら
LINE相談Q&A



学校生活相談センター
(24時間子どもSOSダイヤル)

365日 24時間

あなたの悩みを**電話**や**メール**で相談してみませんか

ひとりで悩んでいませんか
お話ししてくれるのを待っています

ホームページはこちら

0120-0-78310

gakko-sodan@pref.nagano.lg.jp

メールはお返事するまでに数日かかることがあります
お急ぎの場合は電話相談をご利用ください

ながやみいおう



長野県教育委員会

～連絡～

【夏季休業中にかかわって】

◆ 留守番電話時間の変更

期間 7月24日（金）～ 8月18日（火）

現在 18時30分 ～ 翌7時30分

→ 変更後 17時00分 ～ 翌7時50分

※職員の勤務時間は、8時15分～16時45分

となっています。勤務時間外は、対応できない場合があります。

※8月19日（水）からの留守番電話時間は、
18時30分～翌7時30分となります。

◆ お子さんが、生命や安全にかかわる重大な事故・災害に遭うなど、緊急を要する場合は、最寄りの医療機関、消防・救急・警察等および学校へご連絡いただきますようお願いいたします。

〈緊急連絡先〉

消防・救急・・・119番

警察・・・110番

富士見中学校・・・62-2009

◆ 夜間・土日・祝日および

学校閉庁期間8月13日（木）～8月17日（月）

平日（昼間）：富士見町役場子ども課 62-9235

土日・祝日・夜間：富士見町役場代表 62-2250

【2学期からの動き】 開始日 8月19日（水）

- ◆ 暑さ対策として、運動着（Tシャツ、ハーフパンツ）での登下校および校内での生活は継続します。また、制服（夏服）での生活も可。水分補給として、水筒を持参してください。